



子供たちは頑張っています

臨時休業明けから1ヶ月が経過しようとしています。給食もはじまり、学業の遅れを取り戻そうと、教師も子供も「授業を大切に」に取り組んでいます。

学校生活の中では、「密」になることを可能な限り減らす取組をしています。このため、子供たちも、感染防止の意識と実践に努力しています。

保護者の皆様には、学校生活の様子が少しでも伝わり、不安や心配を減らすためにも、学校ホームページで日々の様子を中心に紹介しています。

ぜひホームページを通して、学校の取組と子供たちの努力をご覧ください。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでに多くの学校行事が中止になりました。また、修学旅行や林間学校は、3月の時点で実施時期を秋に変更しました。また、甲府市全体では、連合音楽会が中止になりました。行事の取組を通して、児童を成長させることができなくなり、また、子供たちの気持ちや思いを考えると、せつない気持ちになります。

今後どのようになるのか、予測が付きませんが、校内では、いくつかの行事について、感染防止の手立てについて、どうしたら良いのか等、様々な検討を始めています。

いずれにしても、「子供の命を守ること」を大前提に慎重な判断が求められています。

「子供たちの心のケア」の取組

長期に渡る臨時休業の影響、新型コロナウイルス感染症へ感染することの恐怖、学校生活での制約などがあり、これらのことが子供たちに及ぼす影響は、想像できないほど大きな問題です。

「校長先生、コロナに感染することが、怖いです。」と話してくれた子供もいました。

本校では、子供の心のケアの取組として、スクールカウンセラーによる面談を開始しました。また、毎学期行っている「友達関係アンケート」についても、新型コロナウイルス感染症に関わる設問を加えて、児童の思いや不安を把握するように取り組んでいます。

保護者の皆様からも、不安や心配なことがありましたら、気軽に担任までご相談をお願いします。

「熱中症防止」と「感染防止」の間で

「新型コロナウイルスと熱中症という両方の対策をせざるをえない、誰も経験したことのない夏」(帝京大学医学部附属病院 三宅康史センター長)の中で、例年以上に熱中症への備えが必要だと言われています。

学校生活では、児童も教職員も来校者の方もマスク着用と検温は、基本です。

「マスクの着用で、一概に熱中症になりやすいということではないが、マスクを着けると呼吸がしにくくなり、心拍数や呼吸数が1割ほど増えるというデータがあり、そこに運動や気温の急激な上昇が加わると熱中症になるリスクが高まる」と専門家は指摘しています。

本校では、登下校時、体育の授業では、距離をとる中で、熱中症防止のために、マスクを着用しないことも指導しています。ご理解をお願いします。

ご協力ありがとうございます

児童下校後の全館消毒について、保護者の皆様をはじめ、自治会、体協、地域の方々にボランティアとしてご協力をいただいています。教職員と分担をして一生懸命に取り組んでいただいています。心から感謝を申し上げます。

また、物品面でも、これまでにティッシュ捨て用ゴミ箱にかけるレジ袋、消毒液、マスク、古布、スプレーボトル等についても皆様からご提供をいただきました。本当に助かっています。

皆様のご協力にお礼を申し上げます。

ご理解をお願いします

～情報提供と個人保護～

「新型コロナウイルス感染症陽性者確認の場合についての対応について」を6月19日付けで全家庭に通知しました。

この通知の中で、児童及び教職員に陽性者が確認された場合は、授業打ち切り、保護者への引き渡し、学校閉鎖(期間は未定です)とお知らせしました。

本校では、「陽性者個人」を保護する立場から、陽性者に関するお問い合わせについては、答えられる立場になく、また、お答えすることはできません。勿論、学校は、情報を迅速に保護者に提供することに努めますが、個人を保護する立場があることをご理解ください。

誰もが陽性になる可能性があり、そのような事態が発生した際は、冷静な行動と思いやりのある言動が、子供たちの安心感へつながることをご理解願います。

涙が出ました～子供の思いに～

放課後、各教室を回っていると、子供たちの学習物や作品に目がとまります。

「たのしみは コロナが終わり ふつうの日
みんなが願い かなった日」

6年生の短歌の作品です。

涙が出ました。そして、子供たちのために、頑張る気持ちが自然と湧き上がりました。